

## 資料

狭山丘陵の都立公園におけるタチスゲ *Carex maculata* Boott の記録舟木匡志<sup>1)2)</sup>・久保田潤一<sup>2)</sup>・山下洋平<sup>1)2)</sup>

- 1) 西武・狭山丘陵パートナーズ 〒208-0032 東京都武蔵村山市三ツ木4-2 野山北・六道山公園インフォメーションセンター内
- 2) 特定非営利活動法人 NPO birth 自然環境マネジメント部 〒188-0011 東京都西東京市田無町 3-10-9  
(E-mail : funaki@npo-birth.org)

キーワード: スゲ属, 絶滅危惧種, 湿地, 保全

## はじめに

狭山丘陵は、埼玉県と東京都の都県境にあり、雑木林や谷戸、湿地といった多様な環境から構成されている。首都圏に残された大規模な緑地帯であり「緑の孤島」と呼ばれている(埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター, online)。

タチスゲ (*Carex maculata* Boott) は、本州(宮城県以南)、四国、九州、対馬、南西諸島、伊豆諸島(八丈島)に分布するカヤツリグサ科スゲ属タチスゲ節の多年生草本であり、湿った草地に生育する(勝山, 2015)。国内では、岡山県や兵庫県など西日本で多く記録されている(岡本, 1971, 1972, 1973, 1975, 1978; 荒金, 1998; 八木ほか, 2018)。本種は埼玉県レッドデータブック 2011 で準絶滅危惧種にランクされており、東京都レッドリスト 2020 (東京都環境局, 2021) では、北多摩エリアで絶滅危惧IB類、その他地域では絶滅とされている。

今回、著者らは狭山丘陵の都立公園において本種を確認した。それとともに、産地及びその生育状況や都県内分布について、これまでの知見と合わせて整理したので、報告する。

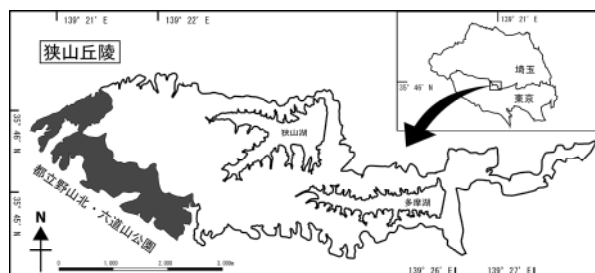


図1. 生育地位置

## 調査地および方法

調査地は、東京都立野山北・六道山公園内の谷戸に位置し(図1)、すでに稲作が行われていないヨシやガマが繁茂する湿地である(図2)。また、当地は東京都レッドリスト 2020 (東京都環境局, 2021) で絶滅危惧IA類にランクされているオオ



図2. 生育地の谷戸の景観



図3. 生育地の環境



図4. 自生地のタチスゲ



図5. タチスゲの雌小穂と雄小穂

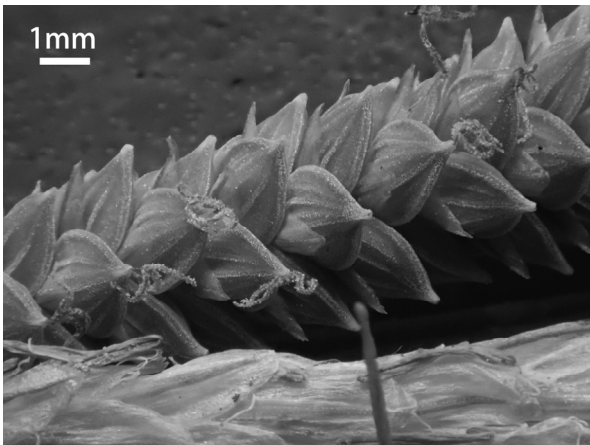


図6. 雌小穂 (拡大)

ニガナの自生地でもあり、2007年から指定管理者がオオニガナ保全の取組みとして、定期的な草刈りや周辺の樹木伐採を行っている。その結果、明るい湿地環境が維持されている(図3)。現地では、オニスゲやヒメシロネなどの明るい湿地性の植物も確認されている。

調査は、2021年5月に行った。第一著者(舟木)が保全活動中に、小穂が立ち上がっているカヤツリグサ科スゲ属の植物体を発見した。同個体を根元から採集し(図4)、日本のス

ゲ増補改訂(勝山, 2015)に従い同定した。本調査は都立公園指定管理内の自然環境保全のためのモニタリング調査の一環として行われており、採集許可を得ている。採集地点の詳細な情報については市町村単位のみ表記にとどめた。

## 調査結果と証拠標本

採集した植物体の側小穂は雌性であり、苞は葉身が長く、有鞘・柱頭は3岐し、果胞に数個の隆起した太い脈があり、全面に細かい乳頭状突起が密生していることからタチスゲであると同定した(図5, 図6)。本報告の証拠標本は、埼玉県自然の博物館に収蔵した。

### 【証拠標本】

登録番号: SMNH-As58787 採集日: 2021年6月2日

採集者: 舟木匡志

採集地: 東京都瑞穂町(都立野山北・六道山公園内)

状態: 蒴果

## 東京都、埼玉県、および狭山丘陵での分布

埼玉県内での記録は、埼玉県植物誌(埼玉県教育委員会, 1998)では、入間市(加治丘陵)、秩父市(旧吉田町)、飯能市の3市、比企郡(すげの会, 2018; 日本生物多様性情報イニシアチブ, [online](#))であり、埼玉県レッドデータブック2011(埼玉県環境部自然環境課, 2012)では、具体的な地域は示されていないが6カ所で記録されている。東京都では八王子市(畔上ら, 1974)、八丈島(すげの会, 2018)で記録されている。狭山丘陵では、狭山丘陵の植物(東京薬科大学植物研究部, 1967)で記録されているのみである。また、今回、東京都植物誌デジタル版(東京都立大学牧野標本館, [online](#))に登録されている標本を確認したところ、都内で採集された標本6点が収蔵されていたため、これも併せて記録する(表1)。

## 今後の展望

タチスゲは湿地に生育するため、植生遷移の進行に伴う乾燥化や周辺樹木の繁茂等により、日照不足となり、衰退することが予測される。そのため、樹木の伐採や草刈りなどの管理作業を継続的に実施し、明るい湿地環境を維持することが、タチスゲの保全上重要である。本報告の結果から、類似した谷戸環境を形成する狭山丘陵の埼玉県側も注目すべき地域・立地環境であるため、今後の調査が望まれる。

表1. 東京都内のタチスゲの標本記録一覧

標本番号	採集日	採集地	採集者	標本収蔵場所
218249	1898年5月22日	東京都板橋区	牧野	牧野標本館
220284	1898年5月22日	東京都板橋区	牧野	牧野標本館
259759	1960年7月6日	狭山丘陵（東大和市）	飯泉	牧野標本館
259760	1960年7月3日	狭山丘陵（東大和市）	飯泉	牧野標本館
292394	1997年6月14日	狭山丘陵（都立野山北・六道山公園内）	畔上	牧野標本館
355444	1949年5月31日	狭山丘陵（埼玉県所沢市，東京都東村山市，東大和市の境）	檜山	牧野標本館
★ SMNH-As58787	2021年6月2日	狭山丘陵（都立野山北・六道山公園内）	舟木	埼玉県立自然の博物館

★は本記録

## 謝 辞

神奈川県立生命の星・地球博物館の大西亘氏には論文執筆にあたり有益なご助言をいただいた。長池公園の内野秀重氏にはタチスゲの同定にご協力いただいた。公益財団法人多摩市文化振興財団の仙仁径氏にはスゲ属の文献情報を提供していただいた。ここに厚く御礼申し上げる。

## 文 献

荒金正憲，1998. 地域に特徴的な大分県産種子植物. 別府大学短期大学部紀要，**17**：9-24.

畔上能力・菱山忠三郎・吉山寛，1974. 東京都南多摩地区植物目録. 文化財の保護，**7**：34-72.

勝山輝男，2015. 日本のスゲ 増補改訂. 391p., 文一総合出版，東京.

日本生物多様性情報イニシアチブ，標本・観察データ検索システム（埼玉県立自然の博物館収蔵標本（タチスゲ））. Online. [https://www.gbif.jp/gbif\\_search/detail?id=2\\_snet-1041-105\\_c15429ac-fla3-11e6-8534-70e2840fc270&normal=true](https://www.gbif.jp/gbif_search/detail?id=2_snet-1041-105_c15429ac-fla3-11e6-8534-70e2840fc270&normal=true) (accessed 2021-9-21).

岡本 香，1971. 島根県産スゲ属植物. 岡山理科大学紀要，**7**：93-119.

岡本 香，1972. 鳥取県産スゲ属植物. 岡山理科大学紀要，**8**：11-33.

岡本 香，1973. 淡路島のスゲ属植物. 岡山理科大学紀要，**9**：39-44.

岡本 香，1975. 中国地方高原のスゲ属. 岡山理科大学紀要，**11**：67-74.

岡本 香，1978. 岡山県産スゲ属植物（II）. 岡山理科大学紀要，**14**：119-129.

埼玉県環境部自然環境課，2012. 埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編. 433p., 埼玉県環境部自然環境課，埼玉.

埼玉県教育委員会，1998. 1998年版埼玉県植物誌. 833p., 埼玉県教育委員会，埼玉.

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター，いきふれについて. Online. <https://ikifure.info/about/> (accessed 2021-9-21).

すげの会，2018. 日本産スゲ属植物分布図集. 766p., すげの会，岡山.

東京都環境局，2021. 東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）東京都レッドリスト（本土部）2020年版. 210p., 東京都環境局，東京.

東京都立大学牧野標本館，東京都植物誌デジタル版. Online. [http://tmunh.jp/syutodai\\_dev/index.html](http://tmunh.jp/syutodai_dev/index.html) (accessed 2021-11-29).

東京薬科大学植物研究部，1967. 狭山丘陵の植物. 71p., 東京薬科大学植物研究部，東京.

八木将勝・大羽康利，2018. 愛知県渥美半島の湧水湿地（小湿原，シデコブシ自生地とその周辺）の植物. 湿地研究，**8**：149-157.

**Records of *Carex maculata* Boott in a metropolitan park  
of the Sayama Hills**

Masashi FUNAKI<sup>1) 2)</sup>, Junichi KUBOTA<sup>2)</sup> and Yohei YAMASHITA<sup>1) 2)</sup>

1) Seibu Sayama Hills Partners, 4-2 Mitsugi, Musashimurayama, Tokyo, 208-0032 Japan

2) Non profit organization NPO birth, 3-10-9 Tanashi, West Tokyo, Tokyo, 188-0011 Japan

**Keywords:** *carex*, endangered species, wetland, conservation